

平成14年3月29日

各位

会社名 株式会社 ナカノコーポレーション  
代表者名 取締役社長 大島 義和  
(コード番号 1827 東証・大証各第1部)  
問合せ先 取締役経理部長 堀江 怜  
(TEL 03-3265-4664)

### 三カ年経営計画について

当社は、平成11年3月に策定しました「新三カ年経営計画」により、「安定的に利益を確保できる企業体質の確立」を目指し、「営業力の強化」、「生産性の向上」、「財務体質の強化」、「人材の育成」に取り組んで参りました。

この度、当社の基本方針である「お客様第一主義」を徹底すべく、お客様に高品質のサービスを提供する事を主眼とする平成14年4月からの「三カ年経営計画」を以下のとおり策定しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### ・計画の骨子

1. お客様に高品質な営業・施工・アフターサービスを提供し「建物に関する総合サービスの顧客満足度ナンバーワン企業」を目指す。
2. 安定した収益基盤の確立を図るとともに、安定配当を実現させる。
3. 計画期間 平成14年4月から平成17年3月までの3年間

## ・計画概要

### 1．営業力の強化

#### (1) 顧客満足度を高める営業活動の強化

##### 1) 営業担当者の明確化

お客様の事業形態と地域にあわせて担当部署を再編成し、営業担当者の専門性を向上させる。

お客様の多様なニーズに迅速に対応するため、地域密着型の営業を推進する。

##### 2) 品質保証とアフターケアの徹底

お客様の施工中の建物の品質保証を確実にするため、進捗状況・性能が分かる様に報告する。

建物竣工後においても、当社の建物メンテナンスシステムにより経年検査、定期点検・診断、緊急対応等を実施し、アフターメンテナンスサービスの質を向上させる

##### 3) 建物に関する付帯サービスの強化

ナカノグループの全社員がお客様の建物に関するニーズを徹底的に追及して、そのサービス業務を拡大させ、お客様の満足度を高める。

#### (2) リニューアル事業の拡充

ナカノグループが一体となり、リニューアル事業の営業から設計・施工・メンテナンス業務を一貫して行い、お客様のニーズに迅速に対応すると同時に、原価低減を実現する。

#### (3) 拠点別独立採算制の重視

支社・支店・営業所は独立採算制を重視した体制とし、不採算の拠点は廃止、もしくは縮小する。

#### (4) 社会環境への対応

環境、少子高齢化、都市再生などのお客様の抱える問題を解決するため、特に環境・医療福祉事業等の工事受注に注力する。

### 2．海外事業の積極展開

国内産業の空洞化に対処するため、東南アジアのグループ会社を基盤として、海外建設市場への取り組みを一段と積極的に展開する。さらにグローバル化への対応として建設工事に関する海外の技術、工法、資材の採用を促進する。

### 3．原価の低減

#### (1) 工事長制を導入し、工事長が作業所を指導して工事管理水準の向上を図る。

#### (2) 工事部の工事長を建物用途別に編成し、作業所勤務社員の専門性を高め、生産性を向上させる。

- (3) 協力業者との連携を一段と密にして、生産性の向上及び原価の低減を図る。
- (4) 情報技術（IT）を活用し、情報の一元化により調達をはじめ業務効率の継続的改善を図り、生産性を向上させる。

#### 4．財務体質の強化

##### (1) 総経費の圧縮

業務の効率化と間接コストの見直しによる削減。

##### (2) 資金の効率運用

- 1) ナカノグループ全体の効率的な資金調達・運用の構築。
- 2) 借入金の圧縮。

#### 5．人事

全社員に顧客サービスの徹底的追求のための行動を求め、これを人事・給与に反映させる。

#### 6．経営計画数値（単体）

単位：百万円

	平成 15 年 3 月期	平成 16 年 3 月期	平成 17 年 3 月期
受 注 高	54,000	50,000	50,000
売 上 高	65,500	59,000	57,000
営 業 利 益	580	910	1,340
経 常 利 益	310	590	1,050
当 期 利 益	60	230	600
有利子負債	29,500	28,200	26,000

#### 7．長期的な展望として目標とする経営指標について

- (1) 収益率を重視した経営を実現し、売上高経常利益率 3%を確保する。
- (2) 資金効率を重視した経営を実現し、総資本経常利益率 3%を確保する。
- (3) 借入金残高を 200 億円まで削減する。

以 上